

東海で71万票 議席倍増2議席を 比例東海ブロック候補者会議開く

比例東海ブロック候補者会議が7日、開かれました。佐々木憲昭衆院議員は国会質問のため欠席しましたが、井上さとし参院議員もかけつけ、河江明美比例候補ら、東海4県の衆院比例・小選挙区、参院の候補者が勢ぞろい。情勢の変化と党の役割、苦労や党勢拡大の活動などを交流し、議席倍増への決意を固めました。

党の提言に共感

かわせ幸代静岡1区候補は、ある団体の政治連盟の各党討論会に参加したところ、「原発をなくす立場から中部電力にものが言えないのか」と問われた自民党県議が「いえる立場にない」と発言。それに対し、河瀬候補が「一緒に原発ゼロへ進みましょう」と語ると、大きな共感が寄せられたと発言しました。

浜松商工会議所を訪問したひらが高成静岡8区候補は、「市内企業80社が中国へ行っているが売上げが半減だ。年末には運転資金が困る。今までリスク対応はやってきたが領土問題はそれを超えている」と訴えられたと話し、政治の力が求められていると発言しました。



内藤こういち三重5区候補も「伊勢志摩の大型ホテルは例年10・11月に6〜700人の中国からの予約があるのに日中関係の悪化で今年はゼロ。党の尖閣問題の提言に共感の声が寄せられた」と発言しました。

自らも農業を営む日下部俊雄岐阜4区候補は「農家は今でも自民党支持が多いが『電気は我慢できるが原発は我慢ならん』といった。TPPでも消費税でも立場が私たちと同じ」と変化を語りました。

日本共産党への壁が低く

黒田二郎愛知2区候補は赤旗拡大で団地を訪問。「これからの日本、どうなるのか」と不安をもらす男性に、「近いうち必ず変わる。いま国民が立ち上がっている」と説明すると、男性も「自分もそう思う」と応じ、「いつそのこと日本共産党に入って一緒に活動しませんか」と勧めると「いいですよ」と即答したことを紹介。黒田候補は「今まで接していなかったところで変化が起きている」と発言しました。

西田とし子愛知4区候補は、街頭宣伝のなかで、「共産党か公明党に政権をとってほしい」という創価学会員らしい人に、公明党との違いを説明すると「私、学会やめるわ。共産党と西田さんを応援します」ときっぱり、同様の例が相次いでいると発言しました。

柳沢けさみ愛知6区候補はこの間、毎週、地元FMにレギュラー出演し、憲法9条や平和の中心に消費税、TPP、安保など様々な問題を語っていると紹介しました。

党の姿をどう語り広げるか

岡野恵美三重1区候補は演説会での河江候補の訴えに感動。「むずかしい言葉を使わずに原発ゼロや党の提言を話す姿に学ばされる。この人をなんとしても国会へと元気がわいてくる」と発言しました。

中野たけし三重2区候補は「自民も民主もダメ、維新も期待できないので今度投票に行かないという人に、日本共産党を選択肢にと訴えている。共産党は当選しそうな人じゃないわいたら、『前回、当選しそうな人に入れたら、このありさま。今度は日本共産党を選んで政治を変えましょう』と訴えている」と発言しました。